

黒潮大蛇行に関連する漁海況の特異現象（愛知県）

対象期間：2004年8月～2005年4月

（1）漁況

- ・伊勢湾及び渥美外海のカタクチイワシシラスは、黒潮が遠州灘に接岸した4～6月は漁獲量が例年の11%と極めて少なかった。7～12月もある程度回復したが、依然例年の59%と少なかった（8～12月では62%）。
- ・9月下旬に伊勢湾のパッチ網で、体長6～7cmのタイワンアイノコイワシ（南日本～東南アジアに生息）が約10%の割合で混獲された。
- ・2005年1月上旬に、黒潮内側反流による暖水波及が伊勢湾口部に波及した。これにより、イカナゴの産卵～ふ化が前期、後期に分断された。また、親魚量の割にふ化仔魚数も少なく、再生産に悪影響を与えたと判断された。

（2）海況

- ・200m深の水温偏差で見ると、黒潮系水の流入が最も強かった7月は平年の+3℃と極めて高く、8月も引き続き+2℃と高めだった。9月以降は-1～+1℃で概ね平年並みで推移した。

（3）報告機関

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

〒470-3412 愛知県知多郡南知多町大字豊浜字豊浦 2-1

TEL 0569-65-0611

FAX 0569-65-2358